

# 令和4年度 事業計画書

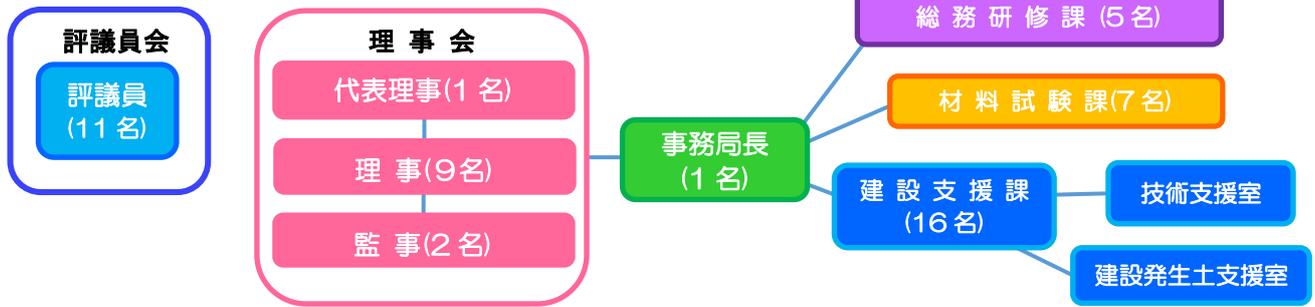
令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

公益財団法人鳥取県建設技術センター

# 目 次

①	組織	1 頁
②	事務局職員	1 頁
③	令和 4 年度事業一覧表	1 頁
	令和 4 年度事業別収支予算一覧表	2 頁
④	社会資本整備事業	3～6 頁
	1-1 研修事業	
	1-1-1 自主研修	(3～5 頁)
	1-1-2 受託研修	(6 頁)
	1-1-3 その他の研修	(6 頁)
	1-2 図書等頒布事業	7～8 頁
	1-3 試験検査事業	9～10 頁
	1-4 技術支援事業	11～13 頁
	1-5 建設発生土受入事業	14～16 頁
⑤	法人の運営・管理の運営	16 頁

# 1 組織



※人数は臨時的任用職員含む

# 2 事務局職員

(R4.3.1 現在)

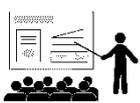
所 属	主な業務	職 名	氏 名	備 考
		事務局長(兼)総務研修課	長谷善幸	
総務研修課	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修事業（自主、受託研修）</li> <li>鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会事務局</li> <li>とっとり建設☆女星 NW 事務局</li> <li>図書頒布事業</li> <li>建設工事下請取引調査</li> </ul>	主 幹	前田民子	
		主 幹	浦田純子	
		副主幹	藤井成之	
材料試験課	<ul style="list-style-type: none"> <li>試験検査事業</li> <li>調査研究活動</li> <li>再生砕石品質調査試験</li> </ul>	課 長	宮脇 泰一郎	
		主 幹	大西慶祐	
		参 与	松井信作	
建設支援課	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設発生土受入事業</li> </ul>	課 長	倉本政寛	(出向)
		室 長	高浜 耕之輔	
		主 幹	井上純一	
建設発生土支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>建設発生土受入事業</li> </ul>	参 与	前田健文	
		技 師	岡野博樹	
		課長(兼)室長	倉本政寛	
		主 幹	竺原 努	
		参 与	赤川 定	
		参 与	反田敏博	
技術支援室	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術支援事業 県、市町村等の積算、監督補助、検査業務</li> <li>市町村インフラ維持管理支援</li> <li>新技術への支援</li> </ul>	副主幹	井上和大	
		副主幹	石黒友規	
		技 師	石井一彦	

# 3 令和4年度事業一覧表

## 社会資本整備事業【公益目的事業】

担当課: 総務研修課

### 研修事業



- ・自主研修
- ・受託研修
- ・その他の研修

### 図書等頒布事業



- ・図書頒布
- ・けんせつ絵本の貸出
- ・けんせつ絵本のおはなし会

担当課: 材料試験課

### 試験検査事業



- ・試験検査事業
- ・調査研究・分析

担当課: 建設支援課ほか

### 技術支援事業

担当: 技術支援室



- ・県等委託(12業務)
- ・市町村委託(4業務)
- ・橋梁 MS
- ・建設 DX
- ・災害復旧支援
- ・ひび割れ相談
- ・ドローン空撮

### 建設発生土受入事業

担当: 発生土支援室



- ・建設発生土受入  
令和4年度受入  
岩美第二(岩美町)  
帽子取第二(琴浦町)  
小町(伯耆町)  
小原(日南町)

令和4年度 事業別収支予算一覧表

(単位：千円)

事業名		内 訳	収入①	支出②	差引①-②	
1-1 研修事業	1-1-1 自主研修	(1) 自主研修	20,369			
	1-1-2 受託研修	(1) 県土整備部技術職員等研修	4,332			
	1-1-3	(1) とっとり建設産業の魅力発信講座	0			
	その他の研修	(2) 建設産業育成研修	5,694			
			小計	30,395	25,465	4,930
1-2 図書頒布事業			1,470	1,073	397	
1-3 試験検査事業	(1) 試験検査事業収入		64,633	56,871		
	(2) その他		20	0		
			小計	64,653	56,871	7,782
1-4 技術支援事業	(1) 受託 (県関係)	① 建設工事下請取引等点検調査	4,341			
		② 再生砕石品質実態調査に係る試験	854			
		③ 工事積算補助	30,446			
		④ ひび割れ診断	1,910			
		⑤ 新技術・新工法活用システム事前審査	700			
		⑥ 道路台帳等修正	13,677			
		⑦ 工事検査補助に係る試験	1,012			
		⑧ 電子成果品保管・管理	5,924			
		⑨ 賃金水準等詳細調査	4,826			
		⑩ 土木工事共通仕様書の改訂	3,198			
		⑪ 橋梁直営点検・診断	4,900			
		⑫ 公共残土利用促進	2,304			
			計	74,092		
	(2) 受託 (市町村関係)	① 工事積算補助	15,992			
		② 現場技術業務	6,688			
③ 橋梁補修工事の積算、現場管理補助及び技術的アドバイス		28,126				
④ 工事検査補助		1,259				
		計	52,065			
(3) その他	① 災害復旧支援	3,000				
	② コンクリートひび割れ相談	2,000				
	③ 支援業務の効率化（ドローンによる空撮等）	350				
	④ 橋梁マネジメント開発共同研究	12,811				
	⑤ 建設DX推進プロジェクト	3,283				
		計	21,444			
		小計	147,601	106,312	41,289	
1-5 建設発生土受入事業	(1) 受入収入	① 岩美第二（計画20,000㎡）	29,700			
		② 帽子取2（計画80,000㎡）	118,800			
		③ 小町（計画115,000㎡）	170,775			
		④ 小原（計画65,000㎡）	143,000			
			計	462,275	451,182	
(2) 特定費用準備資金等			30,000	30,000		
(3) その他			208			
		小計	492,483	481,182	11,301	
管理費			781	35,002	△ 34,221	
当期収支差額			737,383	705,905	31,478	
前期繰越収支差額			52,400	0	52,400	
次期繰越収支差額			789,783	705,905	83,878	

## 4 社会資本整備事業

### 1-1 研修事業

研修検討委員会の意見、アンケート結果、業界のニーズを踏まえ、「測量基礎・丁張り」等7研修を新規に計画するとともに、継続する研修についても研修内容や講師を一部変更して実施します。

#### ○令和4年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R4年度事業のポイント	
実践研修	若手技術者のための基礎研修の拡充	現場研修の拡充	・測量や丁張りを繰り返し練習し、技術を身に付ける研修の新設。→「測量基礎・丁張り」(4日間)
		現場で役立つ力学研修	・現場での活用事例等、現場での業務に直結する内容への見直し。→「河川の基礎」
		魅力的な職場作り	・新人後継者が夢や目標を持って仕事に取り組めるよう、働くことの意味を考える研修を新設。 →「学ぶこと、生きること、働くこと」
情報系研修	ICT(デジタル化)関連の研修	i-Construct ionの活用	・県内業者のICT活用推進につなげるため、UAVや3次元データ作成に関する実践的な研修を新設。 →「ドローン計測安全管理」、「i-Construction研修」
		CAD研修、デジタルDX研修	
維持系研修	インフラ維持管理に関する研修	補修(点検)の拡充	・効率的なインフラメンテナンスにつなげるため、画像計測技術等を活用した定期点検等に重点を置いた研修の実施。→「港湾・海岸施設の維持管理」
		道路維持管理研修の拡充 各構造物の維持管理研修等	
災害系研修	激甚化する災害復旧研修	被災状況に応じた復旧工法研修	・激甚化、頻発化する災害への対応研修を継続し、災害への備えや応急対策・現地踏査等に関する内容を追加。
		改良復旧研修等	
その他		建築関係の研修	・現場見学や積算演習等、業界のニーズの要望を反映させた研修の拡充。→「建築工事現場」
		経営者のための研修	・建設DX、地方建設産業のあり方等に関する研修の実施。

#### <参考>

研修検討委員会における主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンクリート工と土工はいずれも基本的で重要な工種であることから、毎年開催して欲しい。</li> <li>・建築の維持管理や現場見学研修を検討して欲しい。</li> <li>・UAVや3次元設計データの作成に係る研修については、業界の意見を聞きながら決定して欲しい。</li> <li>・研修によっては、すぐに定員に達してしまい、受講できない場合がある。定員を増やす対応を検討して欲しい。</li> </ul>
-----------------	--

(単位：千円)

区分	R4年度予算A	R3年度予算B	増減額A-B
自主研修	20,369	18,980	1,389
受託研修	4,332	4,332	0
とっとり建設産業の魅力発信講座	0	0	0
鳥取県建設分野担い手確保・育成連携協議会	5,694	6,694	△1,000
計	30,395	30,006	389

1-1-1 自主研修

業務名	内 容	予 算 令和4年度 (令和3年度)												
① 自主研修 (継続)	<table border="1" data-bbox="355 338 1129 526"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>講座数</th> <th>受講者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>令和4年度計画</td> <td>41</td> <td>4,060人</td> </tr> <tr> <td>令和3年度計画</td> <td>44</td> <td>4,000人</td> </tr> <tr> <td>対前年</td> <td>△3</td> <td>60人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1) 若手技術者のための基礎研修の拡充</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・技術者として働くことの意味を考える研修やモチベーションアップにつながる研修を実施し、新人・若手技術者の建設産業への定着につなげます。</li> <li>・測量機器の操作や丁張りを繰り返し練習し、現場で実践できる必要な技術を身につける研修を、研修日数を拡大して実施します。</li> <li>・職場での良好な人間関係の構築や世代間ギャップを埋めるためのコミュニケーション手法、ハラスメント対策の研修を実施し、働きやすい職場づくりや定着率の向上につなげます。</li> </ul> <p>(2) ICT (デジタル化) 関連の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多くの会社が外注に頼り、ICT活用の大きなハードルとなっている3次元データ作成を中心に研修を実施し、県内施工業者のICT活用につなげます。</li> </ul> <p>(3) インフラ維持管理に関する研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・港湾、海岸施設の維持管理研修を新設するとともに、既存の研修についても、補修工法や材料等の最新事例のほか、ドローンや画像計測技術等を活用した定期点検の効率化・高度化を盛り込むなど研修内容を充実させて実施します。</li> </ul> <p>(4) 激甚化する災害復旧研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・最新の災害事例のほか、「流域治水」の考え方や大災害への備え、災害発生後の応急対策、現地踏査、測量等の留意点、設計事例の紹介など具体的な対策を解説します。</li> </ul> <p>(5) その他の研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築関係の研修は、現場見学研修や積算演習など、業界のニーズを反映させた研修を実施します。</li> <li>・経営者研修においては、建設DXへの対応方法、これからの地方建設産業のあり方、経営のポイント等を取り上げ、生産性の向上や魅力ある会社づくりにつなげます。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症感染防止対策として、引続きWebセミナー方式で開催します。実技・演習を行う研修については、感染拡大状況を勘案しながら、集合形式での開催を予定しています。</li> </ul>	区分	講座数	受講者数	令和4年度計画	41	4,060人	令和3年度計画	44	4,000人	対前年	△3	60人	20,369千円 (18,980千円)
区分	講座数	受講者数												
令和4年度計画	41	4,060人												
令和3年度計画	44	4,000人												
対前年	△3	60人												

令和4年度自主研修計画一覧表

区分	新規	研修名	加点 研修	CPD研修			受講者数 (人)
				CPDS	コンサル 協会	建築士会	
実務研修	若手技術者のための基礎研修	○ 学ぶこと、生きること、働くこと		○	○		60
		○ 測量基礎・丁張り（4日間）		○	○	○	15
		○ 河川の基礎	技術	○	○		80
		新人技術者のための施工技術基礎	技術	○	○	○	50
		現場技術者のための安全衛生管理	技術	○	○	○	150
		新人技術者のための公共工事基礎（2日間）	技術	○	○		50
		地域建設業の魅力	技術	○	○	○	100
		建設コンサルタント新人研修			○		40
		新人技術者のためのビジネスマナー	人権	○	○		80
		やさしい構造力学（2日間）	技術	○	○	○	60
		土質の基礎（2日間）	技術	○	○	○	60
		基礎から学ぶ土木工事積算		○	○		80
		技術者のための施工計画	技術	○	○		120
		現場管理スキルアップ	技術	○	○		120
		事例から学ぶ現場の安全管理	技術	○	○	○	240
		受発注者のための品質確保	技術	○	○	○	120
		工事施工中の環境配慮	技術	○	○	○	120
		仮設工	技術	○	○	○	120
		建設工事の入札制度	技術	○			150
		トラブル事例から学ぶ擁壁設計		○	○	○	90
コミュニケーション	人権	○	○		150		
人権に関する講習会	人権	○	○		160		
メンタルヘルス	人権	○	○		200		
情報系研修	ICT(デジタル)に関	○ ドローン計測安全管理		○	○	○	70
		○ i-Construction 研修		○	○	○	45
維持系研修	インフラ維持管理研修	○ 港湾・海岸施設の維持管理	技術	○	○		60
		道路構造物の維持管理	技術	○	○		100
		橋梁点検と補修計画		○	○		70
		橋梁維持補修（PC橋）	技術	○	○		70
		橋梁維持補修（鋼橋）	技術	○	○		70
コンクリート構造物ひび割れ補修	技術	○	○	○	120		
災害系研修	頻発化・激甚化する豪雨災害への対応研修	激甚化する豪雨災害への対応	技術	○	○	○	120
		斜面災害の発生原因と対策	技術	○	○	○	120
		事例から学ぶ災害対応（地震編）	技術	○	○	○	120
		軟弱地盤対策	技術	○	○	○	120
その他	建築関係の研修	○ 建築工事現場				○	60
		建築工事の積算演習	技術	○	○	○	60
		建築工事の品質管理	技術	○	○	○	70
		電気・機械設備の品質管理	技術	○	○	○	70
	経営者に対する研修	経営管理Ⅰ	経営	○	○		150
		経営管理Ⅱ	経営	○	○		150
計	7	41	32	39	39	22	4,060

※受講料 半日：3,300円、1日：5,000円、2日：10,000円、経営者：4,100円

### 1-1-2 受託研修

業務名	内容	予算 令和4年度 (令和3年度)
①県土整備部 技術職員研修 (継続)	技術職員の技術力向上、良質な工事執行の確保及び工事の監督業務の適正化を目的として、県土整備部技術職員研修を継続して受託します。 (鳥取県県土整備部技術企画課で研修内容を検討中)	4,332千円 (4,332千円)

### 1-1-3 その他の研修

業務名	内容	予算 令和4年度 (令和3年度)
とっとり建設 産業の魅力発 信講座(継 続)	将来の県内建設産業の担い手確保を目的として、小中学生を対象に建設産業への関心や就業意識を高めるための講座を開催します。 ・出前講座を近隣の小中学校(河北小、西郷小、上北条小、河北中)で開催予定	0千円 (0千円)
鳥取県建設分 野 担い手確保・ 育成 連携協議会： 平成29年1月 設立 (継続)	鳥取県建設分野担い手確保・育成協議会では、各機関と連携しながら将来を見据えた持続可能な建設産業を目指し、建設産業の担い手の確保・育成のため事業を継続して推進していきます。 ○小中学生、保護者等へ建設産業の役割や魅力を伝える方法の企画(建設分野のPR動画等) ○専門高校はじめ、教育インフラ強化に伴うDX施策との連携による、支援材料の充実(学習動画、副教材等) ①研修等運営 ・とっとり建設産業の魅力発信講座 ・第5回とっとりけんせつ魅力発信フォトコンテスト(小中学生) ・魅力発信ガイダンス、UAV測量演習、CAD基本操作、土木積算、現場見学会、資格取得支援等(高校)、インフラの維持管理など ・リスクマネジメント講座(大学) ・1級、2級土木施工管理技士資格取得支援(既就労者) ②情報発信 ・SNSを活用した情報発信：協議会並びに関係団体の取組等 ・建設分野のPR動画等制作 ③協議会運営 ・協議会運営人件費等	5,694千円 (6,694千円)
計		5,694千円 (6,694千円)

### 研修事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・自主研修	20,369
		・県土整備部技術職員等研修	4,332
		・建設産業育成研修	5,694
		計	30,395
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	8,655
	使用料及び賃借料	・コピー機、パソコン、土地建物使用料	2,430
	諸謝金	・講師謝金(個人)	2,810
	委託料	・講師謝金(法人)	4,530
	その他	・テキスト印刷代ほか	7,040
		計	25,465
	差引		4,930

## 1-2 図書等頒布事業

土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売と管理を行います。

けんせつ絵本の貸出増加の取組を行い、多くの方に建設産業の役割や大切さを広めます

### ○令和4年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R4年度事業のポイント
技術系図書の頒布	鳥取県と連携し、機会を捉えながら技術系図書の頒布を実施	・技術系図書の頒布を継続。
図書貸し出しの拡充	県内の未貸出の公共図書館への貸出の拡充	・鳥取市立図書館、米子市立図書館を予定。
	蔵書の増加 R3:100冊⇒R7:210冊	・100冊購入し蔵書を200冊に倍増。
	図書室(センター)の有効利用	・倉吉市立図書館内に、けんせつ絵本コーナーを新設予定。 ・けんせつ絵本のおはなし会を4図書館(鳥取市、米子市、岩美町、智頭町)で実施予定。

業務名	内 容	予算 令和4年度 (令和3年度)																																			
図書頒布 (継続)	土木工事施工管理ハンドブック等、在庫図書の販売と管理を行います。 <b>R4年度図書等頒布一覧表</b> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>図 書 名</th> <th>部数</th> <th>販売単価 (円)</th> <th>R4 収入 (千円)</th> <th>R3 収入 (千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>土木工事施工管理ハンドブック</td> <td>250</td> <td>2,600</td> <td>650</td> <td>7,500</td> </tr> <tr> <td>設計、測量、地質・土質調査共通仕様書</td> <td>5</td> <td>2,851</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>道路工事関係技術便覧</td> <td>10</td> <td>1,476</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>河川・海岸便覧ほか3種</td> <td>10</td> <td>1,069</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>複写用プリペイドカード</td> <td>260</td> <td>3,000</td> <td>780</td> <td>870</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>535</td> <td></td> <td>1,470</td> <td>8,410</td> </tr> </tbody> </table>	図 書 名	部数	販売単価 (円)	R4 収入 (千円)	R3 収入 (千円)	土木工事施工管理ハンドブック	250	2,600	650	7,500	設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	5	2,851	14	14	道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	15	河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11	11	複写用プリペイドカード	260	3,000	780	870	計	535		1,470	8,410	1,470千円 (8,410千円)
図 書 名	部数	販売単価 (円)	R4 収入 (千円)	R3 収入 (千円)																																	
土木工事施工管理ハンドブック	250	2,600	650	7,500																																	
設計、測量、地質・土質調査共通仕様書	5	2,851	14	14																																	
道路工事関係技術便覧	10	1,476	15	15																																	
河川・海岸便覧ほか3種	10	1,069	11	11																																	
複写用プリペイドカード	260	3,000	780	870																																	
計	535		1,470	8,410																																	
けんせつ絵本の貸出 (継続)	<p>H30年度から、子どもたちや保護者に建設産業の役割や大切さを知っていただくため、鳥取県の図書館ネットワークを活用し県内の公立図書館へ、けんせつ絵本の貸出を行っています。</p> <p>貸出数は、16館に於いて延べ約1,900冊となっています。</p> <p>コロナ渦の影響で児童書の人気が高まり、働く車が活躍する絵本は子どもたちに人気になっており図書館から「多くのけんせつ絵本が揃って利用者の目にとまりやすく借りやすい、仕掛け絵本は図書館で蔵書が少ないことから喜ばれている。」との声を頂いています。</p> <p><b>【R4年度貸出増加の取組】</b></p> <p>(1) 蔵書を倍増化 (R3:100冊⇒R4:200冊)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・段階的に蔵書を増やす計画であったが、コロナ渦の影響で児童書の人気が高まりつつあることから、R4年度は100冊購入し蔵書を200冊とし、図書館2ヶ所の同時貸出を行います。</li> </ul> <p>(2) 計画的な貸出巡回の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H30～R3年度の間16館に貸出しを実施。</li> <li>・R4年度は、鳥取市立図書館、米子市立図書館に実施し、年間1,500冊の貸出しを予定しています。</li> <li>・鳥取市立図書館は中央、気高、用瀬図書館を巡回します。</li> </ul> <p>(3) けんせつ絵本コーナーの新設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・近隣住民の方が利用しやすい環境目指して、倉吉市立図書館内に、けんせつ絵本コーナーを新設し、30冊程度を定期的に入れ替えます。</li> </ul> <p>(4) とっとり建設☆女星ネットワーク、鳥大防災ラボと連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・けんせつ絵本のおはなし会をとっとり建設女星NW、鳥大防災ラボと連携し、読み聞かせや防災の話を4図書館(鳥取市、米子市、岩美町、智頭町)で実施します。</li> <li>・とっとり建設女星NWと学校法人藤田学院鳥取短期大学が連携して作成した、「とっとり建設みりよかるた」をけんせつ絵本のおはなし会ワークショップで活用いたします。</li> <li>・参加人数は各会場30人程度に制限し延べ120人を予定しています。</li> </ul>	絵本代 300 (200)																																			

【けんせつ絵本の貸出、おはなし会開催計画】

図書館	けんせつ絵本の貸出		おはなし会の開催		備 考
	貸出期間	貸出数	開催時期	参加人数	
岩美町立図書館	-	-	5月	30人	
鳥取市立図書館	R4.4~R5.3	1,000	7~8月	30人	夏休み期間 (中央⇒気高⇒用瀬)
ちえの森ちづ図書館	-	-	11月	30人	開館2周年記念
米子市立図書館	R4.5~R5.3	500	12月	30人	冬休み期間
計		1,500		120人	

図書頒布事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科 目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・土木工事施工管理ハンドブック	650
		・複写用プリペイドカード	780
		・その他	40
	計		1,470
支出	人件費 その他	・役員報酬、給料手当、福利厚生	339
		・コピー機使用料ほか	734
		計	1,073
	差引		397

### 1-3 試験検査事業

顧客からの信頼を継続するため、試験精度を維持し、試験件数の確保に繋がります。  
OJT を通じて試験担当者の複数化を図り、試験実施体制を強化します。  
試験技術の研鑽、調査研究活動を推進するため外部教育を活用し人材育成をます。

#### ○令和4年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R4年度事業のポイント
技術（試験）の継承	試験件数の維持、確保	・試験精度を維持し、試験件数を確保。
	6試験分類74試験項目の継承	・試験担当者の複数化を図り、試験実施体制を強化。
	新規試験の導入	・土質配合試験を導入。
JISQ17025（JNLA）の内部監査、更新の実施	試験精度の維持、確保	・試験精度を維持し、試験件数を確保。（再掲） ・更新審査の受審。
人材育成と確保	計画的な研修とOJT	・外部教育を活用した人材育成。
調査研究・分析	コンクリート関係（軽量コンクリート）	・課題を検討して進めていく。
	土質関係（地盤改良）	・配合試験の実施例を基に、課題の整理。
	骨材関係（粒度試験分析）	・研究成果の公表（予定）。

#### 【業務概要】

##### 1 技術（試験）の継承

- ・技術の継承を図るため、過去の試験結果の分析を行うことにより技術力の向上にむけて研鑽を図ります。
- ・顧客からの信頼を継続するため、試験精度を維持し試験件数の確保に繋がります。
- ・OJT を通じて試験担当者の複数化を図り、試験実施体制を強化します。
- ・新たな技術を高めるため研修に積極的に参加する。

##### 2 JIS Q 17025（JNLA）の内部監査、更新の実施

- ・ISO 17025（JIS Q 17025）に適合する試験機関（JNLA 登録事業所）として、JNLA 登録を継続します。
- ・内部監査体制を強化するため、内部監査員資格者を1名増員し4名体制とします。
- ・JNLA 登録の有効期間が満了（R4年8月）になることから、更新審査を受審しJNLA 登録を維持します。

##### 3 調査研究・分析

- ・コンクリート関係：軽量コンクリートを含めた、将来のコンクリート系の課題を整理し調査研究を早急に実施します。
- ・土質関係：配合試験の実施例を基に、地盤改良の事例を取りまとめ、課題を整理します。

【試験項目別収入】

試験分類	令和4年度予算 A		令和3年度予算 B		増減額 A-B	
	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)	件数	金額 (千円)
土質	2,110	24,582	2,020	23,652	90	930
骨材	780	4,716	800	5,497	△20	△781
コンクリート	26,980	33,620	28,190	36,815	△1,210	△3,195
アスファルト	390	799	360	733	30	66
鋼材	380	518	420	577	△40	△59
水	35	398	30	389	5	9
計	30,675	64,633	31,820	67,663	△1,145	△3,030

試験検査事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・試験検査収入	64,633
		・雑収入	20
	計		64,653
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	42,052
	委託料	・試験機点検、校正	1,542
	その他	・光熱水費ほか	13,277
	計		56,871
差引			7,782

## 1-4 技術支援事業

老朽化が進むインフラの効率的・効率的な維持管理と、建設産業の担い手確保が課題となっている中で、発注者支援（積算、現場管理、検査、点検から補修の維持管理業務等）の要請が増えています。

県・市町村のニーズに確実に応えるため、より一層の支援強化・充実に取り組めます。

### ○令和4年度事業のポイント

第4期経営改善計画		R4年度事業のポイント
インフラ整備・維持管理の支援	工事積算補助業務	・ 県受託は前年度並み ・ 市町村受託は琴浦町下水道の完了に伴い減額
	現場技術業務・工事検査（補助）業務	・ 前年度と同じ3市町を支援
	橋梁アドバイス業務	・ 前年度+1の13市町を支援
	コンクリートひび割れ診断指導業務	・ 前年度並みの予算計上 ・ 診断士資格取得による体制強化
	災害復旧支援業務	・ R3災害は4町60箇所を支援 ・ 林道災害の支援を初実施
インフラ関係データ、システムの運用・管理	道路台帳等修正業務	・ 前年度並みの予算計上
	電子成果品保管・管理業務	・ オンライン電子納品システム登録への対応による予算増
	橋梁マネジメントシステム（仮称）	・ 共同研究成果の長寿命化修繕計画更新を受託予定
	建設DX（ドローン、3Dデータ、遠隔立会）	・ <b>（新）建設DX推進プロジェクトにより UAV 空中写真測量、3次元設計データの作成を内製化</b>
高い技術力への支援強化と人材育成	センター職員の技術力向上	・ 計画的な研修受講、資格取得 ※R3実績：2級土木 1名 測量士補登録 1名 ・ 3次元データ作成研修の受講
	賃金水準等詳細調査業務	・ 前年度並みの予算計上
	建設産業の魅力発信講座	・ 関係機関との連携 ・ 実体験を重視したプログラム

#### 【業務概要】

- ・ 県、市町村からの各種受託業務を計画的かつ効率的に実施します。
- ・ トンネル、下水道推進・管更生など特殊工事の積算に取組み、積算技術と品質の向上を図り、発注者（県、市町村）の支援を充実します。
- ・ 市町村の工事積算・現場技術業務、橋梁補修アドバイス業務、さらに検査補助業務を実施し、総合的な市町村支援を進めます。また、災害発生時には経験と実績を生かし、迅速かつ確実な災害復旧支援を行います。
- ・ 令和元年度から県で実施された橋梁直営点検について、市町村の点検・診断に拡大支援し、点検の効率化やコスト縮減に取り組めます。
- ・ 建設産業の生産性向上を図るため、建設ICT活用による技術支援として、UAV空中写真測量から3次元設計データの作成等、施工管理の効率化を促進する取組を進めます。
- ・ **市町村の橋梁メンテナンスサイクルを一括支援する体制構築に向け、橋梁マネジメントシステム（仮称）を整備し、点検診断から補修工事に関する一連データの管理活用を進めます。**

〔事業費総括表〕

（単位：千円）

区分	R4年度予算 A	R3年度予算 B	増減額 A-B	備考
受託（県）	74,092	66,775	7,317	
受託（市町村）	52,065	41,310	10,755	
災害復旧支援	3,000	3,000	0	市町村
ひびわれ相談	2,000	2,000	0	民間
ドローン空撮	350	350	0	県、市町村ほか
橋梁MS開発	12,811	3,500	9,311	長寿命化修繕計画更新
建設DX推進	3,283	0	3,283	UAV写真測量、3Dデータ作成
計	147,601	116,935	30,666	

(1) 受託 (県関係)

業務名	内容	予 算 R 4 年度 (R3 年度)	担当課
①建設工事下請取引等点検調査 (継続)	県発注の建設工事に係る下請取引等について適正化を図るため、その取引状況 (下請代金の見積・契約方法等) が建設業法の規定に違反がないか点検調査を行います。 (R4) 約 200 件 (R3) 約 200 件	4,341 千円 (4,341 千円)	総務研修課
②再生砕石品質実態調査に係る試験 (継続)	再生砕石は、既設の構造物 (コンクリート、アスファルト等) を破砕したものを原材料としており、原材料の均一性を確保することが困難なことから、新材と比べ品質規格を満足しないことが生じやすいため、センターにおいて、ふるい分け試験等を行い、品質を調査します。	854 千円 (854 千円)	材料試験課
③工事積算補助 (継続)	設計業務委託成果品をもとに、発注者用図面作成、設計数量のチェック及び算出、工事価格の積算等を行います。 (R4) 道路、河川、砂防・治山、下水道管更生 (R3) 道路、河川、砂防・治山、下水道管更生	30,446 千円 (29,651 千円)	
④ひび割れ診断 (継続)	センターのコンクリート診断士がコンクリート構造物に発生したひび割れの診断を行い、ひび割れ抑制の指導を行います。 (R4) 10 箇所 (R3) 10 箇所	1,910 千円 (1,900 千円)	
⑤新技術・新工法活用システム事前審査 (継続)	県内の建設業者等で開発された新技術等の利活用の促進と製品の販路拡大を目的に、その工法及び製品が公共工事に活用出来るかどうかを事前に審査を行います。 (R4) 5 件 (R3) 5 件	700 千円 (700 千円)	
⑥道路台帳等修正 (継続)	道路工事後の道路形状変更、供用開始の告示資料、道路台帳付図の修正、道路情報便覧更新作業、道路現況調査票や交付税基礎数値算定資料などの作成を行います。	13,677 千円 (15,342 千円)	
⑦工事検査補助 (継続)	当初請負対象設計金額が 15,000 千円未満の合否判定のみの工事検査について、請負業者が作成した工事完成資料の事前確認を行います。 (R4) 30 箇所 (R3) 30 箇所	1,012 千円 (1,198 千円)	建設支援課
⑧電子成果品保管・管理 (継続)	県工事及び測量設計業務に係る電子納品成果品 (CD 等) をオンライン電子納品システムに登録します。 (R4) 600 枚 (R3) 600 枚	5,924 千円 (906 千円)	
⑨賃金水準等詳細調査 (継続)	県発注工事において、専門業者 (とび、型枠、鉄筋等 5 業種) への下請契約が、適正な賃金水準で契約されているかどうか調査するもので、下請契約の見積金額と設計金額とを対比させた資料を作成します。 (R4) 600 工種程度 (R3) 600 工種程度	4,826 千円 (3,683 千円)	
⑩土木工事共通仕様書の改訂 (新規)	県の土木工事施工管理ハンドブック、業務共通仕様書の改訂作業の支援と電子書籍化を行います。	3,198 千円 ( - 千円)	
⑪橋梁直営点検・診断 (継続)	橋梁直営点検の点検実地指導、診断指導、健全度判定会の運営・とりまとめを行います。 (R4) 点検 50 橋 (R3) 点検 50 橋	4,900 千円 ( 4,900 千円)	
⑫公共残土利用促進 (継続)	県主催の建設発生土対策連絡協議会の開催補助を行います。	2,304 千円 (3,300 千円)	
計		74,092 千円 (66,775 千円)	

## (2) 受託（市町村関係）

業務名	内容	予 算 R 4 年度 (R3 年度)	担当課
①工事積算補助 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の積算を行います。 (R4) 境港市、湯梨浜町、北栄町 (R3) 境港市、湯梨浜町、琴浦町、北栄町	15,992 千円 (19,474 千円)	建設支援課
②現場技術 (継続)	市町村が発注する工事のうち、専門的な技術を必要とする工事の現場技術業務を行います。 (R4) 境港市、湯梨浜町、北栄町 (R3) 境港市、湯梨浜町、北栄町、日南町	6,688 千円 (8,100 千円)	
③橋梁補修工事の積算、現場技術及び技術的アドバイス (継続)	市町村が発注する工事のうち、特に専門的な技術を必要とする橋梁補修工事に対するアドバイスをを行います。 (R4) 下記＋日南町（3市10町） (R3) 鳥取市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、大山町、伯耆町（3市9町）	28,126 千円 (11,902 千円)	
④工事検査補助 (継続)	市町村発注工事の工事完成検査について、請負業者が作成した工事完成資料及び現地の確認を行います。 (R4) 倉吉市、境港市 (R3) 倉吉市、境港市、湯梨浜町	1,259 千円 (1,834 千円)	
計		52,065 千円 (41,310 千円)	

## (3) その他

業務名	内容	予 算 R 4 年度 (R3 年度)	担当課
災害復旧支援 (継続)	被災状況等の調査、復旧工法等の技術的助言及び査定設計書等の作成を行います。 (R4) 5件 (R3) 5件	3,000 千円 (3,000 千円)	建設支援課
コンクリートひび割れ相談 (継続)	受注者からの依頼により、コンクリート構造物のひび割れをコンクリート診断士が調査し、ひび割れ発生の原因の特定、補修の要否の決定及び補修方法等を記載した「ひび割れ診断報告書」の作成に併せ、ひび割れ抑制・防止対策等について受注者に指導・助言します。 (R4) 20件 (R3) 20件	2,000 千円 (2,000 千円)	
支援業務の効率化(ドローンによる空撮等) (継続)	建築物の点検、災害状況、工事完成写真などドローンを活用した写真撮影を行います。 (R4) 5件(空撮) (R3) 5件(空撮)	350 千円 (350 千円)	
橋梁マネジメントシステム開発共同研究 (継続)	東北大学との共同研究により、橋梁メンテナンスサイクル関連データを一元管理するシステム開発を行います。	12,811 千円 (3,500 千円)	
建設DX推進プロジェクト (新規)	施工管理の効率化を図るため、モデル工事において UAV 空中写真測量から 3 次元設計データの作成を行います。	3,283 千円 ( - 千円)	
計		21,444 千円 (8,850 千円)	

### 技術支援事業 収支予算一覧表

単位：千円

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・受託（県）	74,092
		・受託（市町村）	52,065
		・橋梁マネジメントシステム開発共同研究	12,811
		・建設DX推進プロジェクト	3,283
		・その他（ひび割れ、ドローン、橋梁）	5,350
	計		147,601
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	70,506
	研究開発費	・橋梁マネジメントシステム研究開発	8,000
	ソフトウェア購入支出	・ソフトウェアEX-TREND武蔵	2,750
	その他	・土木設計積算システム使用料ほか	25,056
		計	
	差引		41,289

### 1-5 建設発生土受入事業

公共事業を円滑に進めるため、県内全域で効率的かつ経済的な受入地の確保を行い、大規模公共事業からの建設発生土を優先的に受入します。

#### ○令和4年度事業のポイント

(単位：千m3)

第4期経営改善計画			計画 受入 土量	R2 受入 土量	R3 受入 土量 (見込)	R4年 受入 土量 (予定)	受入 可能 土量	R4年度事業のポイント
開設中の 事業所	安定的な稼働	岩美第二 事業所	250	164	0	20	66	・2万m3の受入れ予定。
		帽子取第 二事業所	455	105	71	80	199	・8万m3の受入れ予定。
		小町事業 所	900	0	29	115	756	・11.5万m3の受入れ予 定。
		小原事業 所	210	12	20	65	113	・6.5万m3の受入れ予 定。
民間処分 場と競合 しない地 域の開所	・収支均衡の とれた各事業 所の運営 ・地域活性化 に向けた跡地 利用の実現 ・県との連携 強化 ・支出負担の 軽減(協定の 見直し)	中部県土 局管内	250	0	0	0	250	・関係機関と協力して新規 候補地を選定。
		日野県土 局管内	280	0	0	0	280	・関係機関と協力して新規 候補地を選定。
大規模事 業に必要 な処分場		美成候補 地	540	0	0	0	540	・美成候補地に代わる新規 候補地を智頭町周辺での選 定作業を実施。
計			2,885	281	120	280	2,204	



**【事業概要】**

**(1) 開設中の事業所**

①岩美第二事業所：

一般国道 183 号岩美道路専用処分場としての受入がほぼ完了したものの、容量的に受入が可能なこともあり、R4 年度は岩美町内で県が行う岩美道路事業以外の公共事業から 2 万 m<sup>3</sup> の受入を予定しています。

②帽子取第二事業所

R4 年度は 8 万 m<sup>3</sup> の受入を予定しています。

③小町事業所

R3 年 10 月から米子自動車道 4 車線化に伴う建設発生土の受入を開始し、R4 年度は他の公共事業を含め 11.5 万 m<sup>3</sup> の受入を予定しています。

④小原事業所

国土交通省が実施する鍵掛峠道路事業からの建設発生土の専用処分場として受入を行っており、R4 年度はトンネル本体工事を含め 6.5 万 m<sup>3</sup> の受入を予定しています。

**(2) 民間処分場と競合しない地域の事業所**

①中部県土局管内新規箇所

中部管内は帽子取第 2 事業所が営業中ですが、R7 年度には完了見込みであることから、引続き新規候補地の選定を行っていきます。

②日野県土局管内新規箇所

引続き耕作放棄地を中心に新規候補地の選定を行います。

**(3) 大規模事業に必要な処分場**

①美成候補地（鳥取市用瀬町美成）

志戸坂道路事業等の発生土受入れを目的に R4 年度開所を目指し準備を進めていましたが、R3 年 7 月に熱海市で発生した土石流災害に端を発した地元関係者の盛土工事への不安から、砂防ダムなど過大な安全対策の要求が出されたため、止む無く中止することになりました。

現在、美成候補地に代わる新規候補地について智頭町周辺で選定作業を行っています。

**(4) その他**

①第 2 三谷事業所（鳥取市河原町）

舗装修繕、沈砂池土砂撤去を実施し、R4 年度に地元・市へ引渡しを行います。

受入収入一覧表 1,485 円/m<sup>3</sup>(※小原は 2,200 円/m<sup>3</sup>)

地区	事業所名	R3 年度予算 A		R4 年度予算 B		増減額 B-A (千円)
		土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)	土量(m <sup>3</sup> )	収入(千円)	
東部	岩美第二(岩美郡岩美町)	0	0	20,000	29,700	29,700
中部	帽子取第 2(東伯郡琴浦町)	120,000	178,200	80,000	118,800	△59,400
西部	小町(西伯郡伯耆町)	60,000	89,100	115,000	170,775	81,675
	小原(日野郡日南町)	45,000	99,000	65,000	143,000	44,000
計		225,000	366,300	280,000	462,275	95,975

R4 年度 工事・設計等予算一覧表

(単位：千円)

地区	事業所名	R4 予算額	備考
東部	岩美第二(岩美郡岩美町)	25,000	場内造成工事及び水路工土砂撤去、法面補修(R4 現年予算)
	第 2 三谷(鳥取市河原町)	40,000	市道舗装補修、調整池土砂撤去(R4 現年予算)
		7,700	確定測量業務(繰越)
中部	帽子取第 2(東伯郡琴浦町)	19,900	場内造成工事(繰越)
		40,000	場内造成工事(R4 現年予算)
西部	小町(西伯郡伯耆町)	35,000	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事 R3 債務負担行為承認済 R3:0 円、R4:35,000 千円
		85,000	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事(R4 現年予算)
		30,000	小町事業所埋蔵文化財調査
	小原(日野郡日南町)	24,800	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事(繰越)
		50,000	場内造成工事及び暗渠配水管設置工事(R4 現年予算)
新規候補地調査		30,000	新規 2 箇所設計(八頭地区・日野地区)
計		387,400	

事業所別受入土量見込

(単位：千 m<sup>3</sup>)

地区	事業所名	受入期間	全体土量	R3 受入土量	R3 末受入累計	R4 受入土量	R4 末受入累計	R3 末受入可能土量	進捗率(%)
東部	岩美第二	H28.12~R5 年度	250	0	164	20	184	66	73%
中部	帽子取第 2	R2.2~R7 年度	455	71	176	80	256	199	56%
西部	小町	R3.10~R10 年度	900	29	29	115	144	756	16%
	小原	R2.7~R5 年度	210	20	32	65	97	113	46%
計			1,815	120	401	280	681	1,134	

区分	科目	内 訳	金 額
収入	事業収入	・帽子取2	118,800
		・小町	170,775
		・小原	143,000
		・岩美第二	29,700
	・処分場整地等積立資産取崩収入等	30,208	
	計		492,483
支出	人件費	・役員報酬、給料手当、臨時雇賃金、福利厚生	36,520
	工事請負費	・帽子取2、小町、小原、第2三谷等	321,700
	委託料	・新規事業所概略設計	39,800
	負担金	・小町埋蔵文化財調査等	30,500
	処分場整地等積	・処分場整地等積立資産支出	30,000
	ソフトウェア購入支出	・建設発生土システム改修	6,000
	その他	・事業所用地使用料ほか	16,662
		計	
	差引		11,301

## 5 法人の運営・管理の運営

### (1) 理事会及び評議員会の開催について

#### ①理事会

開催時期	内 容
R4年 5月	R3年度事業報告、決算及び評議員会の開催について
	代表理事の選定について
R4年 10月	R4年度職務執行状況について
R5年 3月	R5年度事業計画書等について、評議員会の開催について

#### ②評議員会

開催時期	内 容
R4年 5月	R3年度事業報告及び決算について 理事の選任について
R5年 3月	R5年度事業計画書等について

### (2) 監事監査の実施について

開催時期	内 容
R4年 5月	R3年度決算監査
R4年 11月	R4年度定例監査

### (3) 「けんせつフェスタ 2022」の開催について

- ・開催日：令和4年10月中旬予定
- ・目 的：主にファミリー層を対象に建設産業に親しみを持ってもらうとともに、地域における役割や魅力を広く理解してもらい、次世代を担う子どもたちに建設産業イメージアップを図る。
- ・主 催：鳥取県立産業人材育成センター倉吉校と合同で開催（予定）  
（R3年度は新型コロナウイルス感染症感染防止対策の観点から中止した。）
- ・参加人数 500人（予定）

### (4) 「鳥取県建設技術センター設立40周年記念事業」の開催について

令和4年4月1日に創立40周年を迎えることから、今後も当センターが地域の活性化や建設産業の発展に貢献することを祈念するとともに、関係各位への感謝の意を表するため、令和4年度に記念事業を実施する。

- ・事業内容：「記念講演の開催」及び「40周年あゆみパネル展の実施」
- ・開催時期：令和4年9月（予定）